

第2回V・ファーレン長崎支援会長崎支部会議事録 要旨

日 時：2010年12月27日（月） 19:00～21:00

会 場：長崎市民会館第5会議室

支援会参加者：・平鍋公二（会長） ・大山昇（長崎市支部長） ・森崎公彦（事務局長）

・藤原裕久（運営委員長） 以上4名

V・V長崎：・菊次勉（専務取締役） 以上1名

一般参加者：21名

議事内容要旨

■19:00：支援会開会

別紙「第1回支援会議事録要旨」と「第2回長崎支援会長崎支部会」を配布。大山支部長より本会の諸注意と説明、今回の緊急支援会開催に至った経緯と、本日の菊次専務の発言は現状で回答出来る範囲内である事を説明する。続いて平鍋会長より開会の挨拶後、菊次専務よりクラブの現状報告として1月に新体制発表が行われる事、来季クラブ方針、スタジアム問題、退団選手への対応などの説明が行われる。

■19:15～：意見交換開始

・参加者とクラブの質疑応答（「」：参加者からの意見、→：回答）

「集客について」→魅力あるゲーム・楽しいスタジアム作り・地域貢献事業を3本柱に集客へ繋げる。

今年の有料入場者数の割合は3割。来季は2.5倍を目指す。招待券大量配布はしない。

「クラブが選手にファンと親しくしないようにとの指示」→クラブとして規制や指示は何もない。

「フロントの増強」→可能な範囲で全力を尽くす。特に営業面で人員増強を考えたい。

「来季方針」→優勝を狙えるチーム作り。その為のチーム作りを進行中。契約更改も進んでいる。

「スタジアム問題」→長崎県・長崎市・Jリーグと粘り強く交渉中。

「クラブの運営姿勢の問題」→来季の新体制発足にあわせて改めるべき点は改めていきたい。

・クラブのPR・広報・連絡体制に対する要望

→外部へ情報を発信するPR・広報の部分のみならず、クラブ内での情報共有体制が整っていない。その為にクラブへ連絡を行っても報告・連絡が一切なく無反応で終るケースが多く、不信感を募らせる原因となっている。新体制下においては情報・連絡体制をしっかりと整備し、具体的な対策を講じてもらいたい。

■21:00 閉会

支援会による緊急集会要望を受けてクラブ側が迅速に対応してくれた事で、支援会1月の新体制発表とその後のクラブの対応に期待する事とし、次回からは具体的な支援活動の話し合いと実践を進めて行く事とする。特に平均観客動員3,000人をクリアする為の活動について協力を検討する事として閉会。

以上

V・ファーレン長崎支援会 運営部